

## 新水道ビジョンに位置づけられる令和4年度水道事業

## 基本施策「災害に強い水道施設の整備」

## 1) 施設の適正な維持管理

## ○ 漏水調査：1,210 万円（税抜 1,100 万円）

調査期間 4 月発注～令和 5 年 3 月（予定）

調査地域 豊岡、金子地区

※ 管路の更新を行った区域は調査対象より除きます。

## ○ 消火栓保守点検：251 万 5 千円（税抜 228 万 6 千円）

調査期間 5 月発注～令和 5 年 2 月（予定）

調査地域 東金子、宮寺、二本木地区

## ○ 空気弁保守点検：235 万 3 千円（税抜 213 万 9 千円）

調査期間 10 月発注～令和 5 年 3 月（予定）

調査地域 藤沢地区

## ○ 漏水修理業務委託関連（配水費）：8,464 万 9 千円（税抜 7,695 万 3 千円）

- ・ 公道漏水修理業務委託 : 4,180 万 3 千円（税抜 3,800 万 3 千円）
- ・ 更生工事 : 234 万 9 千円（税抜 213 万 5 千円）
- ・ 宅地内漏水修理業務委託（私道内） : 910 万 3 千円（税抜 827 万 5 千円）
- ・ 宅地内漏水修理業務委託（宅地内） : 1,321 万 1 千円（税抜 1,201 万円）
- ・ 破損（公道）漏水修理業務委託 : 50 万 8 千円（税抜 46 万 2 千円）
- ・ 破損（宅内）漏水修理業務委託 : 27 万 3 千円（税抜 24 万 8 千円）
- ・ 漏水修理待機業務委託（土・日・祝日） : 671 万円（税抜 610 万円）
- ・ 漏水修理待機業務委託（平日） : 1,069 万 2 千円（税抜 972 万円）

## 2) 計画的な施設の更新

### ○ 西武第一配水池建替工事（配水場建設費）：2 億 7,005 万円 （税抜 2 億 4,550 万円）

西武第一配水池は、建設から 45 年が経過し老朽化していること、また、耐震性能も低いと考えられること、更には寺竹配水場の稼働に伴い、既存の配水池（容量 2,000 m<sup>3</sup>）よりも容量を縮小できることから配水池の建替工事を行うものです。耐震性能を有する配水池に建て替えることにより、大規模な地震が発生した場合でも被害を最小限に抑え安定給水を図ることができます。令和 3 年 11 月から令和 5 年 3 月までの 2 カ年の継続事業で工事を実施しています。

【継続事業費】 540,100 千円（令和 3 年度：270,050 千円 / 令和 4 年度：270,050 千円）

【工事内容】 配水池建替（容量 1,325 m<sup>3</sup>） 1 棟

### ○ 鍵山浄水場改修工事（浄水場改良費）：1 億 1,831 万 4 千円 （税抜 1 億 755 万 8 千円）

鍵山浄水場は、昭和 33 年に竣工し、平成 19 年 3 月の大規模改修以来、15 年が経過し、ポンプ設備や計装機器等が耐用年数を迎えたことから、計画的な改修を行うものです（想定耐用年数は機器により差はありますが、今回の改修対象機器は概ね 10～15 年です）。令和 4・5 年度の 2 カ年の継続事業で工事を実施します。

【継続事業費】 236,628 千円（令和 4 年度：118,314 千円 / 令和 5 年度：118,314 千円）

【工事内容：主な更新設備】 機械設備（水中ポンプ・攪拌機等：平成 19 年設置）

### ○ 扇町屋配水場改修工事（配水場改良費）：6 億 1,050 万円 （税抜 5 億 5,500 万円）

扇町屋配水場は、昭和 49 年 12 月竣工し、平成 7・8 年度の改修以来 25 年が経過し、老朽化が進んでいます。設備機器の耐用年数を迎えたことから、今後も安定的な給水を継続するため、最新の設備機器へ更新するものです（想定耐用年数は機器により差はありますが 20～30 年です）。令和 3・4 年度の 2 カ年の継続事業で工事を実施しています。

【継続事業費】 1,221,000 千円（令和 3 年度：610,500 千円/令和 4 年度：610,500 千円）

【工事内容：主な更新設備】 配水ポンプ、受変電・動力設備、  
自家用電気発電設備（自家用電気発電設備室建設を含む）

○ **人間台加圧場改修工事（加圧場改良費）**：1 億 9,550 万円 （税抜 1 億 7,772 万 7 千円）

平成 7 年の竣工後、25 年が経過し、設備機器の耐用年数を迎えたことから、今後も安定的な給水を継続するため、最新の設備機器へ更新を行うものです（想定耐用年数は機器により差はあります。水中ポンプは概ね 15 年、電気設備は 20～30 年です）。令和 3・4 年度の 2 カ年継続事業で工事を実施しています。

【継続事業費】 391,000 千円（令和 3 年度：195,500 千円 / 令和 4 年度：195,500 千円）

【工事内容：主な更新設備】 配水ポンプ、受変電・動力設備、自家用電気発電設備

3) 老朽管（硬質塩化ビニル管）の更新や重要幹線となる配水管の耐震化

○ **硬質塩化ビニル管布設替事業（単独事業）**：2 億 7,292 万 1 千円 （税抜 2 億 4,811 万円）

短期耐震化計画（老朽管布設替計画）に基づき、昭和 40 年代から昭和 50 年代に布設された硬質塩化ビニル管をダクトイル鋳鉄管に布設替えを行うものです。令和 4 年度は約 2,725m（単年度事業分約 1,675m、継続事業分約 1,050m）の工事を実施します。

【工事内容】 ・市道 A385・A386 号線配水管布設替工事 L=233m  
・市道 F196 号線外 2 路線配水管布設替工事 L=385m  
・市道幹 18 号線配水管布設替工事 L=233m  
・市道幹 56 号線配水管布設替工事 L=413m  
・市道 C20・C23 号線外 3 路線配水管布設替工事 L=411m  
・市道幹 34・幹 40 号線配水管布設替工事（継続事業）L=1,050m

○ **武蔵藤沢台団地内配水管布設替工事**：9,970 万 4 千円 （税抜 9,064 万円）

武蔵藤沢台団地内における昭和 49 年に布設された全長約 1,447m の硬質塩化ビニル管をダクトイル鋳鉄管に布設替えを行うものです。令和 4 年 11 月から令和 6 年 2 月までの 2 カ年の継続事業で工事を実施します。

【継続事業費】 199,408 千円（令和 4 年度：99,704 千円 / 令和 5 年度：99,704 千円）

【工事内容】 管布設延長：1,447m、管種：ダクトイル鋳鉄管

口径別延長：φ75 366m、φ100 1,081m

給水対象戸数：113 戸

<p>○ <b>入間ヶ丘団地内配水管布設替工事（第三工区）</b>：8,031 万 1 千円 （税抜 7,301 万円）</p>	
<p>入間ヶ丘団地内における昭和 44 年から昭和 45 年に布設された全長約 4,000m の硬質塩化ビニル管をダクタイル鋳鉄管に布設替えを行うものです。当該工区では施工区間延長 1,285m（管布設延長 1,285m）の布設替工事を行います。令和 3 年 8 月から令和 5 年 3 月までの 2 カ年の継続事業で工事を実施しています。</p> <p>【継続事業費】 160,622 千円（令和 3 年度：80,311 千円 / 令和 4 年度：80,311 千円）</p> <p>【工 事 内 容】 管布設延長：1,285m、管種：ダクタイル鋳鉄管</p> <p style="padding-left: 40px;">口径別延長：φ75 765m、φ100 520m</p> <p style="padding-left: 40px;">給水対象戸数：116 戸</p>	
<p>○ <b>重要幹線更新事業（単独事業）</b>：1 億 7,847 万 5 千円 （税抜 1 億 6,225 万円）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西武支所線バックアップ管整備工事（第一工区-1）：7,403 万円 （税抜 6,730 万円）</li> <li>・ 市役所線配水管布設替工事（第二工区）：2,656 万 5 千円（税抜 2,415 万円）</li> <li>・ 黒須出張所線配水管布設替工事（第一工区）：7,788 万円 （税抜 7,080 万円）</li> </ul> <p>【継続事業費】 1 億 5,576 万円（令和 4 年度：7,788 万円 / 令和 5 年度：7,788 万円）</p>	
<p>○ <b>水管橋更新事業</b>：5,347 万 1 千円 （税抜 4,861 万円）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不老橋架替に伴う配水管布設替工事：2,530 万円 （税抜 2,300 万円）</li> <li>・ 富士見橋架替に伴う配水管布設替工事：2,278 万 1 千円（税抜 2,071 万円）</li> <li>・ 西武 14 号橋架替に伴う配水管布設替工事：539 万円 （税抜 490 万円）</li> </ul>	